

令和 8 年度宮城県医師会事業計画

昨秋の大きな政治潮流の変化により新しい政権が誕生し、構造的経営不振に喘いでいた医療機関に一縷の光明がさしたかのようである。

しかし生産年齢人口の減少が著しく進む一方医療を必要としている人口は一定の高止まりを呈することで医療財政の見通しは非常に厳しい状況にある。医師の需要と供給を含めた経済状況も、この潮流から逃れることはできない。しかしながら経済はどうであれ我々医療職に課せられた使命については患者すなわち国民に向き合い、その健康を守って行くことが揺るぎない大前提である。

医師会の採るべき道は、地方あるいは都市部における医療崩壊を防ぎ、担い手たるべき会員や医療機関を守り、萎縮せずに医療を担ってゆくように支援することに尽きる。その過程で得られる医療活動の現場から生じた見解や問題点の解決を関係省庁や日本医師会に働きかけてゆく所存である。以下に挙げる諸活動に対しての会員諸賢の絶大なご支援を賜りたい。

令和8年度活動計画

1. 医療基本問題とその検討

- 1) 医療倫理の高揚と実践
- 2) 国民皆保険の維持と医療への市場原理主義導入の阻止
- 3) 医師不足及び偏在・医療崩壊への対応
- 4) 個人情報保護法及び医療情報の開示への対応
- 5) 医療事故調査等支援団体としての制度への対応
- 6) 医事紛争対策の充実

2. 医療機関の経営基盤の安定と医師の労働環境の改善

- 1) 病院、有床並びに無床診療所の経営基盤の健全化
- 2) 各種補助金獲得の更なる努力
- 3) 医師の働き方改革に向けた医療環境の改善
- 4) ダイバーシティー支援センターの拡充
- 5) 医療従事者の安全確保対策の推進
- 6) 医療関係職種との連携

3. 医師生涯教育の充実

- 1) 新専門医制度への対応
- 2) 生涯教育事業の改善および専門医制度との連携
- 3) 医師臨床研修制度への参画
- 4) 医学研究の奨励・助成

4. 地域の保健、医療、福祉活動の一体化

- 1) 新興感染症への対応。行政との連携等
- 2) 地域医療構想の実現に向けた地域医療構想調整会議の活性化
- 3) 地域包括ケアシステムの構築と多職種協働、在宅医療の推進
- 4) 大規模災害対策及び JMAT 宮城の強化
- 5) 救急医療の充実・強化
- 6) がんゲノム医療への参画、がん治療の均てん化、緩和ケア医療の充実
- 7) がん登録の推進とデータ活用への協力
- 8) 糖尿病を含む生活習慣病への対応
- 9) 母子保健・学校保健・産業保健・スポーツ医学等の充実

- 10) 労災・自賠責保険制度の運営協力
- 11) 宮城県医師会少子化対策検討委員会の活動推進、高齢化社会への対応
- 12) 自死対策をはじめとするメンタルヘルスケアの充実
- 13) 医師無料職業紹介事業（ドクターバンク）の充実
- 14) 環境問題への取り組み
- 15) 医療のデジタルトランスフォーメーションへの対応
- 16) 宮城県地域医療学会の開催
- 17) 警察活動に協力する医師の組織化並びに死因究明向上への関与
- 18) 禁煙と受動喫煙対策の推進

5. 医師会活動の基盤整備、組織強化

- 1) 医師会館・地域医療連携支援センターの運営
- 2) 公益社団法人としての各事業の効率化
- 3) 郡市医師会との連携
- 4) 宮城県医師会健康センター事業の充実と推進
- 5) MAMIS の活用による研修医、勤務医、新規開業医の医師会加入促進と勤務医委員会の充実
- 6) 医政活動および広報活動の充実、医学生との交流活動の推進
- 7) 宮城県医師会協同組合事業の推進
- 8) 宮城県地域医療情報センター事業の推進
- 9) 日本医師会と東北ブロック医師会及び郡市医師会活動への連携と協力
- 10) 適切な保険診療の推進と個別指導、監査への関与